週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.04.16〜04.20

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

＊記事は東京発行・最終版

CHINA

4月16日（月）

■ブリヂストン、発泡ゴム増産
自動車・産業機械用／広東に新工場

ブリヂストンは、広東省に自動車と産業機械用の発泡ゴムやウレタン、電子精密部品の製造販売会社を設立。2013年に工場を建設。発泡ゴム、ウレタンが５割増、電子精密部品が２割増。（６面）

■中国でソフト開発委託
日本システム技術

日本システム技術は、中国でソフトウエアやＩＴシステムなどのオフショア開発を2013年３月期に始める。開発コストの低減で競争力を高め、自社のパッケージソフト販売の足掛かりに。（10面）

4月17日（火）

■保利協鑫能源、豪リンク株取得
ディーゼル燃料製造で合弁

石炭地下ガス化技術を持つ豪リンク・エナジーは、中国・保利協鑫能源がリンクの株式の５％を取得することで合意した。石炭ガス化からのディーゼル燃料製造で合弁事業。（時事＝３面）

■クラリオン、カーナビ３倍増産
月３万台／東莞工場２ライン導入

クラリオンは、2013年度に中国のカーナビ生産台数を現在の３倍の月３万台に引き上げる。東莞工場に２ライン導入して拡張。現地仕様に沿ったナビ開発を進めて競争力を強化する。（５面）

■スズキ、重慶第２工場
年産15万台／内陸部の中所得層照準

スズキは、重慶市で中国合弁会社「長安鈴木」の第２工場を着工。2013年12月に年産15万台で稼働。既存工場と合わせ年50万台。中国内陸部の中所得層をターゲットとした小型車を増産。（５面）

■「コンセプトカー」展示
素材メーカー／チャイナプラス

「中国国際プラスチック・ゴム工業見本市」は、大手の出展社が自社の素材を採用した試作車「コンセプトカー」を相次いで展示。中国の自動車市場への期待をうかがわせる。（10面）

スズキがインドで投入する３列シートで７人乗りの小型ＭＰＶ「エルティガ」

4月18日（水）

■「ｉＰhone」予備電池−４㎜
ホリーウェイ

中国の電池メーカーであるホリーウェイ・ニュー・エナジーは、米アップルの「ｉＰhone」と一体型のバックアップ用蓄電池を開発した。厚さ４㍉㍍。５月末に日本市場で発売する。（８面）

右が厚さ４㎜の蓄電池､左が専用のカバーケースを取り付けたiPhone

■ジヤトコが品質技術センター
部品の現地化、迅速対応

ジヤトコは、広東省の生産子会社内に品質技術センターを開設した。品質保証機能・統計的品質管理・開発機能・調達機能を、一つのチームとして組織した。部品の現地化により迅速対応。（５面）

■帝人、テキスタイル増産
1.5倍、7500万−9000万㍍

帝人は、中国でテキスタイルを増産する。子会社を通じて織物や染色で現地企業とアライアンスを増やして、テキスタイルの生産量を２−３年以内に1.5倍の同7500万−9000万㍍に増やす。（11面）

4月19日（木）

■香港に「インフィニティ」
日産／ショールーム開設

日産自動車は、2012年中に高級車ブランド「インフィニティ」を香港市場に投入する。香港は経済水準が高く、高級車の需要があると判断した。ショールームも香港に設ける。（５面）

■日本精工、中国30カ所体制
低価格品も展開／内陸部開拓

日本精工は、中国の営業拠点を10カ所増やし、2015年度までに30カ所にする。湾岸部に多く立地しているが、雲南省など内陸部にも拠点を増やし販売体制を拡充。低価格品の販売を本格化。（６面）

■上海での開発者70人体制
富士ゼロックス／モノクロ複合機強化

富士ゼロックスは、2013年までに複合機を生産する上海子会社の現地開発者を40人増員し70人に。３機種を同時開発、現地中小規模事業所向けのモノクロ複合機の開発を強化する。（８面）

■帝人、繊維の用途開発加速
南通市に商品開発センター

帝人は、江蘇省南通市に商品開発センターを設置する。現地企業との繊維の用途開発を進めるのが狙い。2013年４月に操業。自動車やエレクトロニクス向けの産業資材などの開発も視野。（10面）

■独ランクセス、香港に開発拠点
エンプラ／日中ア向け

独ランクセスは、中国・香港にエンジニアプラスチックの試作や試験を行う拠点を年内に設立する。中国や日本などアジア地域を担当する。樹脂製部材の需要が伸びている自動車産業向け。（10面）

■成都市でマッシュルーム
年産5000㌧／豊田通商が合弁

豊田通商は、マッシュルーム加工・販売会社の成都東蔵現代農業発展有限責任公司と合弁で成都市にマッシュルームの合弁会社を設立。2013年に生産を始める。年産5000㌧。（13面）

■会員制でレンタルオフィス
サムライン／中小の進出支援

サムラインは、日本企業の中国進出支援事業に乗り出す。広東省広州市の100％中国子会社を拠点にし、定額会員制でレンタルオフィスや商品販売サポートなど支援サービスを提供する。（22面）

4月20日（金）

■三菱重工、ターボ年1000万台
中国５倍／米に工場進出

三菱重工業は、2016年に自動車用ターボチャージャーを2.3倍の年1000万台に引き上げる。米国に工場を建設し現地生産。中国工場を４−５倍に増強し、米ＧＭや独ＶＷの受注増に対応。（１面）

■上海ＧＭ、再び折半出資に
米ＧＭ／広がる提携

米ゼネラル・モーターズは、中国最大手・上海汽車集団との合弁会社、上海ＧＭを再び折半出資に戻す。提携がインドなどに広がる中、世界最大市場の中国で経営権を対等に戻す。（時事＝７面）

■宇部興産、10社に技術供与
ＭＥＧ／まず４社と計100万㌧

宇部興産は、2015年度をめどに、石炭からポリエステル原料となるエチレングリコール（ＭＥＧ）の製造技術を中国企業10社程度に供与する。まず４社と計100万㌧超の契約を結んだ。（13面）

■ＪＦＥ、中国の合弁相手変更
広州薄板に／当局の意向

ＪＦＥスチールは、中国で自動車向け鋼板を生産する広州ＪＦＥ鋼板の合弁相手が従来の広州鋼鉄企業集団から広州薄板になった。中国の産業政策当局の意向を受けた変更。（13面）

■ニチイ学館の介護会社に出資
豊田通商／ノウハウ融合

豊田通商は、ニチイ学館グループの上海市にある介護・福祉用具販売会社に2012年末までに約13％出資する。豊田通商の物流・営業網とニチイの介護・福祉用具サービスのノウハウを融合。（17面）

TELOP

■「北京モーターショー」23日開幕
日本勢、トップ自らプレゼン（17日５面）

■吉林省の軸受メーカーに出資
日本精工（17日７面）

■中国専用の飲料自販機
富士電機リテイル（17日８面）

■三菱電機、米中で５件受注
水処理用オゾン発生装置（18日８面）

■センコー、現法が始動
大型都市開発の物流業務（18日15面）

■ＳＢＩ、海通証券に出資
アジアで協業（18日17面）

■セコム、上海で高級老人ホーム
子会社が合弁設立（19日３面）

■西南交通大学と協定
県立広島大（19日25面）

● ひと

重要なところ以外は目をつぶる

「日本向けに作った製品がそのまま海外でも売れていた。が、今は国ごとに要望が違う」と指摘するタムラ製作所取締役の李国華さん。「全部に高品質なものは必要とされていない。重要なところ以外はある程度目をつぶってでも価格が安い製品が望まれる」。（16日＝８面）

内陸部が急拡大

「中国内陸部で自動車の需要が急拡大している」と語るキリウ社長の橋口純一さん。主要顧客である日産自動車のほか「（第３工場の建設は）武漢地域に進出する欧州メーカーなどの増強に対応する狙いがある」と、中国でのさらなる事業拡大に意欲を燃やす。（17日＝５面）

10年早い

「中国や東南アジアへの出店は、まだ10年以上早いと考えている」と慎重な姿勢なのはニトリホールディングス社長の似鳥昭雄さん。「チェーンストアへの来客には自動車が必要。中国は自動車の保有率が数％と低く、70％まで上がらないと厳しい」とみている。（19日＝13面）

一点突破

「中国のローカル企業は沿岸部の賃金ではローカル企業同士の価格競争に勝てず、内陸へ工場を展開している」とアスプローバ副社長で上海法人総経理の藤井賢一郎さん。「中国市場は大きく多様。すべてのパイはとれない」と一点突破にかける。（19日＝22面）

ASIA

4月16日（月）

■日産、大連に新工場
新興国拡大策が着々

日産自動車が、中期経営計画で掲げる新興国での事業拡大策が出そろってきた。中計発表のあとインドネシアなどでの生産能力を増強。中国は大連の新工場建設しシェアを10％に高める。（６面）

■スズキ、インドに小型ＭＰＶ
1400cc新型エンジン搭載

スズキのインド子会社は、３列シートで７人乗りの小型ＭＰＶ「エルティガ」を発売した。ガソリン車が1400cc（新開発）、ディーゼル車が1300cc。マルチの乗用車タイプのＭＰＶ投入は初。（６面）

■野村総研、東南ア開発拠点拡大
日系企業の現地拠点向け

野村総合研究所は、東南アジア数カ国に現地拠点を2012年度中に開設する。主力のシステム開発事業で、日系企業の現地拠点向けにシステム刷新の需要が高まっていることに対応する。（10面）

■日建工学がベトナムに事務所
新型消波ブロック普及

日建工学は、ベトナム・ハノイ市に駐在員事務所を開設する。ベトナムにおける港湾整備や発電所建設向けに新型消波ブロックを普及させる狙い。同社初の海外拠点。（13面）

4月17日（火）

■住友重機、新興国を攻略
変減速機／インドを増強

住友重機械工業は、変減速機事業で新興国市場を攻略する。インド拠点を年内に移設・拡張して組み立て能力を増強、機械加工やサービス機能も付与。中国、ブラジルは増員する。（６面）

走行しながら発電。長い距離を走ることができる

■電動２輪車用発電機開発
ピー設カンパニー／中・印向け

ピー設カンパニーは、電動２輪車の前輪に装着し、車輪の回転を利用して発電する高出力の発電機を開発した。台湾の２輪車メーカー、メイブルースに供給、中国やインドに販売する。（１面）

■３次元ＣＡＤ、アジアを開拓
Ｃ＆Ｇ／台湾など４社と契約

Ｃ＆Ｇシステムズは、アジア開拓する。インドネシア、フィリピン、台湾の４社と販売代理店契約を結んだ。日系企業のほか、現地企業にも同社製３次元ＣＡＤ／ＣＡＭを売り込む。（７面）

■日機電装、韓国売上高を倍増
ＤＤサーボモーターなど

日機電装は、韓国向け売上高を2013年３月期に２倍の約３億円に上げる。現地法人を仁川市に開設。半導体製造装置のウエハー回転ステージなどに使われるＤＤサーボモーターなどを拡販。（29面）

4月18日（水）

■キリウ、タイの鋳造能力を倍増
月5000㌧体制／輸出拠点に

キリウは、タイで自動車用ブレーキ部品の鋳造工場を増設する。2013年８月に稼働、既存工場と合わせた能力を倍増となる月5000㌧に。タイを東南アジア諸国での製造輸出拠点に。（５面）

■住友重機、ベトナムに完全集約
小型減速機／製品コスト３割低減

住友重機械工業は、小型減速機の世界生産を６月をめどにベトナム拠点に完全集約する。製品コストで２−３割低減。岡山製造所で一部生産していた。岡山は中大型減速機に特化。（６面）

■日立造船、ソウルに拠点
営業・調達機能／韓国企業を攻略

日立造船は、韓国・ソウル市内に営業・調達拠点を開設した。営業強化と国際調達の拡大が狙い。精密機械やプラント、船用機器で存在感を増す韓国企業を攻略する。（６面）

4月19日（木）

■インドネシアに生産集中
リチウム一次電池／パナソニック

パナソニックは、インドネシアのリチウム一次電池の生産能力を2013年３月までに約７割増の年８億5000万個に引き上げる。守口工場からインドネシアの新工場に製造設備を移設する。（１面）

■歯車工作機械、インドで生産
三菱重工／自動車向け急増

三菱重工業は、インドのベンガルールで歯車工作機械の生産を10月から始める。現地の自動車生産の急増による歯車加工需要の伸びに対応する。現地生産で納期と貿易コストを圧縮。（６面）

■ベトナムでデジカメ直販
富士フイルム／高級機種

富士フイルムは、ベトナムでデジタルカメラを５月上旬から直販する。現地販売会社にデジタルカメラ事業部門を新設､高級機種「Ｘシリーズ」を売り込む。同国でのシェアを10％以上に。（８面）

■カネカ、マレーシアに新工場
ポリイミドフィルム／年産600㌧

カネカは、ポリイミドフィルムの新工場をマレーシアに建設する。子会社の敷地内に建設、年産約600㌧体制で2013年10月に稼働。スマートフォンなどのプリント配線板の需要増に対応。（10面）

■タタ・キャピタルと印でリース
東京センチュリーリース

東京センチュリーリースは、インドのタタ・キャピタルとリース事業に関する業務提携に向けた覚書を締結した。国内リース企業がインドでリース事業を展開するのは初めて。９月に始める。（15面）

■フコク、アジアに輸出
医療介護用マットレス

フコクは、自社製の医療介護用マットレスのアジア向け輸出に乗り出す。早ければ2012年度内にもタイで販売を始める。富裕層向け医療機関や高齢者施設を開拓。（22面）

4月20日（金）

■ホンダ、タイ24万台フル生産
洪水被害の４輪車工場

ホンダは、洪水で被害を受けたタイの４輪車工場で2012年度、年間生産台数24万台のフル生産を目指す。同工場は昨年10月の洪水で水没。復旧作業を進め３月29日に生産を再開した。（７面）

■タイで「ミラージュ」量産
三菱自／年産11万台

三菱自動車は、タイ子会社のミツビシ・モーターズ・タイランドで世界戦略小型車「ミラージュ」の本格量産を始めた。2012年度は11万台を生産。タイから日本など世界各地に輸出する。（７面）

■兼松ＫＧＫ、ジャカルタに拠点
工作機械・鍛圧機械サポート

兼松ＫＧＫは、インドネシアのジャカルタに駐在員事務所を開設した。自動車関連を中心とした日系顧客が使う工作機械や鍛圧機械のアフターサービスを強化する。工場進出のサポートも。（８面）

■溶接用トーチを分散生産
ダイヘン／タイ・中国・日本

ダイヘンは、タイ子会社に集約していた溶接用トーチの生産を再編し、８月をめどにタイ、中国、日本の拠点での分散生産体制に移行する。洪水などのリスクヘッジを図る。（９面）

■シークス、公共インフラで協業
シンガポール・ＳＴエレと深耕

シークスは、シンガポールのＳＴエレクトロニクスインフォコムシステムズと公共インフラの受託事業で協業する。技術やノウハウを組み合わせ、公共インフラ市場を深耕する。（11面）

ホンダタイ４輪車工場の洪水対応の推移

11年10月４日	上流のサハラタナナコン工業団地が冠水、部品の入荷が止まり工場操業停止
10月６日	ロジャナ工業団地から避難勧告
10月８日	ロジャナ工業団地から避難指示
10月８日17時半	ロジャナ工業団地の堤防が決壊、浸水始まる
10月下旬ごろ	工場設備が破損していることを前提に再発注を始める
11月７日	ロジャナ工業団地で排水作業開始
11月11日	ホンダの立地するエリアで排水開始
11月25日	水位がゼロメートルに
11月28日	工業団地から正式立ち入り許可が出る。清掃作業開始
12月８日	従業員を集めて復旧作業のキックオフミーティング
12月17日	電力供給再開
12月27日	水没した1055台の完成車のスクラップ作業開始、報道陣に公開
12年１月５日	新年の式典で早期再開を宣言、設備メーカーから最大300人が来社し復旧に当たる
３月26日	生産再開
３月31日	生産再開式典を実施
４月９日	１日当たり生産1000台のフル操業に
７月	エンジン工場の鉄製部品加工ラインが再稼働予定

■ミャンマーに開発子会社
ＮＴＴデータ／500人体制

ＮＴＴデータは、ミャンマーのヤンゴンに子会社を９月に設立する。日本からのソフトウエア開発の受託を中心としたオフショア開発拠点として活用する。５年後をめどに約500人体制。（12面）

■永大化工、ベトナムで増産
車用フロアマット年産1.4倍

永大化工は、ベトナム・ホーチミン市に自動車用フロアマットの第４工場を建設する。日系自動車メーカーなどの受注増に対応する。生産能力は現在の1.4倍程度。（13面）

■生活雑貨専門店、アジア100店
Ｊフロント／台北に１号店

Ｊ・フロントリテイリングは、傘下の生活雑貨専門店「ＰＬＡＺＡ」をアジアの各都市に展開し、100店体制を目指す。台湾・台北市に１号店を出店、シンガポールやタイなどに展開。（17面）

■みずほコーポ銀、ヤンゴン拠点
ＡＳＥＡＮ10拠点目

みずほコーポレート銀行は、ミャンマー南部にあるヤンゴン市に駐在員事務所を開設し、営業を始めた。情報収集体制を強化し、日系企業の進出を支援する。ＡＳＥＡＮ10拠点目。（19面）

■熱伝導シート、韓国から輸入
セイル電子／月2000㎡

セイル電子ジャパンは、韓国から熱伝導シートの輸入販売を始めた。ヒートシンク需要などを開拓する。銅製、アルミニウム製の２種。販売は月2000平方㍍を目指す。（25面）

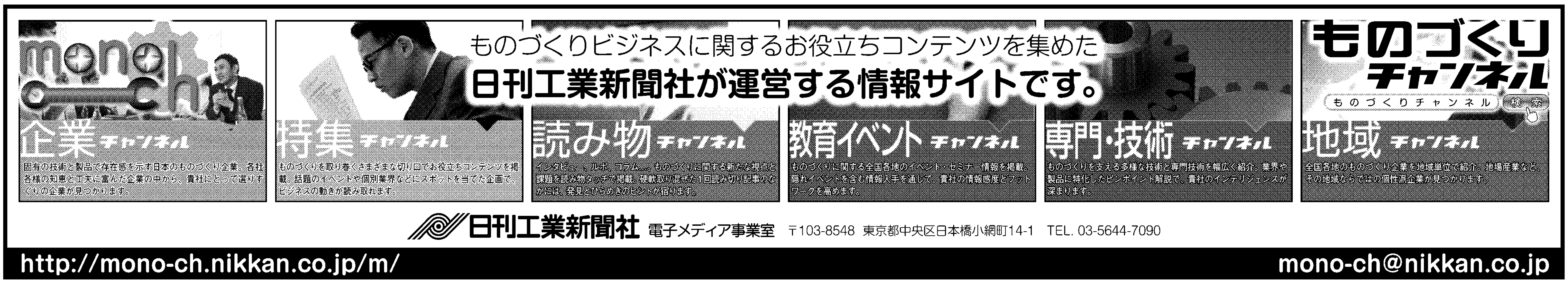
■インドネシアの銀行と提携
愛知銀行

愛知銀行は、インドネシアのバンクネガラインドネシアと業務提携した。自動車関連を中心にインドネシアに進出する企業が増える中、現地の口座開設や送金など金融サービスを行う。（29面）

● ひと

アジアと交流

「ようやく日本で開催できた」とほっと胸をなでおろす、日本金型工業会会長の上田勝弘さん。大阪でアジア金型工業会協議会の総会を開いた。中国や韓国など９カ国が集結。「各国の金型事情や人材育成の情報交換ができた」。業界同士の交流の重要さを実感。（20日＝９面）



日刊工業新聞社　電子メディア事業室　〒103-8548　東京都中央区日本橋小網町14-1　TEL. 03-5644-7090
http://mono-ch.nikkan.co.jp/m/
mono-ch@nikkan.co.jp